

2019 年度 愛知学泉大学シラバス

科目番号	科目名	担当者名	基礎・専門別	単位数	選択・必修別	開講年次・時期
2301117	特別活動の指導法 Teaching Methods of Special Activities	近藤 茂明	専門	2	選択	3年 後期

科目の概要

本授業では教師の資質能力の向上を目指し、全教育課程における位置づけをふまえた特別活動に関わる基本的概念・内容を理解させる。その実践的内容については、個人やグループによる指導計画づくりとその相互発表・討議を通して行う。また、毎授業の進め方は基礎的内容の理解を土台として行い、必要に応じて適宜話し合い活動等を取り込んで、実践的な理解の習得や主体的な態度の育成にもつなげていく。

学修内容	到達目標
① 特別活動に関する基本的概念・内容を理解する。 ② 基礎的内容の理解を土台として、実践的な内容を通じた具体的な学習活動(体験)を行う。 ③ 話し合い活動や文章記述等の言葉による表現活動を通して、自他の考えを深め合う。	① 特別活動をめぐる基本的な内容や考え方を理解し、今日的課題と結びつけて考察することができる。 ② 教師の力量向上に必要な資質能力について、具体的な学習活動(体験)を通して気づくことができる。 ③ 集団的な学習活動を通して様々な考えを比較し、自分の考えを言葉で整理して表現することができる。

学生に発揮させる社会人基礎力の能力要素

学生に求める社会人基礎力の能力要素の具体的行動事例

前に踏み出す力	主体性	自分自身の被教育経験、実生活、様々な関心と結びつけながら、学習活動や自己学習に取り組むことができる。
	働きかけ力	
	実行力	自分の願いに沿った目標設定を行い、根気よく学習活動に取り組むことができる。
考え抜く力	課題発見力	与えられた課題だけにとらわれることなく、自ら新たな課題を見出すことができる。
	計画力	
	創造力	学習課題等に対して柔軟で多様な考え方で取り組むことができる。
チームで働く力	発信力	グループワークや全体発表において、自分の考えを整理して表現することができる。
	傾聴力	グループワークや全体発表において、他者と自分の考えを比較しながら、より深い考えを導き出すことができる。
	柔軟性	
	状況把握力	
	規律性	遅刻や私語等、授業に支障をきたす行動を自粛して、円滑な学習活動を心がけることができる。
	ストレスコントロール力	

テキスト及び参考文献

テキスト: 特に使用しない。必要な資料は授業中に配布する。

参考文献: 必要に応じて、授業中に適宜紹介する。

他科目との関連、資格との関連

他教科との関連(専門): 教育原理・教職入門(1年)、教育方法論(2年)、教育実習(4年)

資格との関連: 中学校ならびに高等学校教諭一種免許状(家庭)

学修上の助言	受講生とのルール
・毎授業中のグループワークや全体発表では、積極的な意見交流を心がけるとよい。 ・毎時間の学習内容は、予復習(課題)において関連する情報収集を積極的に行うとよい。	・毎授業で配付する学習資料の予備は前回分しか保管しないので、忘れた際には出席者にコピーをもらう。 ・授業開始時には必ず携帯電話の電源を切るとともに、授業に向かう気持ちの切り替えを行う。

【評価方法】

評価方法	評価の割合	到達目標	各評価方法、評価にあたって重視する観点、評価についてのコメント
筆記試験	40	① レ	<ul style="list-style-type: none"> 設問内容の趣旨を理解し、授業内容をふまえて自分の見解を論理的に展開し、記述しているかを評価する。 以下の4項目の記述ポイントを合格の基準とする。 <ul style="list-style-type: none"> 授業内容を基に記述しているか。 論点を整理して記述しているか。 自らの被教育(学習)経験をふまえて記述しているか。 自ら考えた代替案等を具体的に提示しているか。 (4項目+独創性=S、4項目=A、3項目=B、2項目=C、1項目以下=F)
		②	
		③	
小テスト			
レポート	40	① レ	<ul style="list-style-type: none"> 毎授業の最後に振り返りとして行う小レポートの点数を平均して判定する。(授業内容を基に、自分の考えをどこまで整理し深めることができたかを判定する)
		② レ	
		③	
成果発表 (口頭・実技)	10	①	<ul style="list-style-type: none"> グループワークや全体発表における表現内容・方法の明確さを評価する。 話し合い活動を高めていくための意見発表等における貢献度も評定として加える。
		② レ	
		③ レ	
作品			
社会人基礎力 (学修態度)	10	① レ	(主体性) <ul style="list-style-type: none"> 予習時に学習課題を自分自身の経験や関心に引きつけて取り組むことができる。 (実行力) <ul style="list-style-type: none"> 復習時に明確な目標設定を行い、根気よく取り組むことができる。 (課題発見力) <ul style="list-style-type: none"> 復習時に課題を広げ深め、自分の学習課題を発展させることができる。 (創造力) <ul style="list-style-type: none"> 授業中に他者の考えを柔軟に受け入れ、多様な学習活動に取り組むことができる。 (発信力) <ul style="list-style-type: none"> 授業中に自分の考えを整理し、相手に分かりやすく伝えることができる。 (傾聴力) <ul style="list-style-type: none"> 授業中に相手の考えのよさを受け入れ、自分の考えを深めることができる。 (規律性) <ul style="list-style-type: none"> 授業全体で遅刻や私語を自粛し、円滑な学習活動を進めることができる。 毎時間の提出物を期限内に確実に出すことができる。
		②	
		③	
総合評価 割合	100		

【到達目標の基準】

到達レベルS(秀)及びA(優)の基準	到達レベルB(良)の基準
<ul style="list-style-type: none"> 筆記試験において、論点を明確に整理して、自分の考えを論理的に記述できている。 小レポートにおいて、該当授業の要点を的確にまとめ、焦点を絞って自分の考えを振り返ることができている。 話し合い活動や発表において、他者を受け入れながら、多様な考えを表現することができている。 授業参加において、全体の学習活動の高めていこうとする積極的な態度をもって授業に貢献することができている。 提出物に対する取り組みにおいて、学習を深めようとする姿勢ならびに成果を確実に示している。 	<ul style="list-style-type: none"> 筆記試験において、論点をふまえ、自分の考えを記述できている。 小レポートにおいて、該当授業の内容に触れ、自分の考えを振り返ることができている。 話し合い活動や発表において、自分の考えを整理して表現することができている。 授業参加において、自分自身を自制した態度で、学習活動に取り組むことができている。 提出に対する取り組みにおいて、提出期限を守って進めている。

週	学修内容	授業の実施方法	到達レベルC(可)の基準	予習・復習	時間(分)	能力名
1週 /	<ul style="list-style-type: none"> 本授業の全体概要と進め方、留意事項を理解する。 学習指導要領を中心とした特別活動の歴史の変遷を理解する。 	<ul style="list-style-type: none"> ガイダンス 講義 質疑応答 	<ul style="list-style-type: none"> 本授業全体の目的、進め方、留意点を理解することができる。 特別活動の歴史の変遷の概要を理解することができる。 	(予習) シラバスに目を通し、本授業全体の概要を理解する。 (復習) 本時の学習内容をノートにまとめる。	90 90	規律性
2週 /	<ul style="list-style-type: none"> 今日の子どもたちを取り巻く状況と特別活動のつながりを特別活動の視点より考える。 	<ul style="list-style-type: none"> 講義 質疑応答 復習のまとめ発表 	<ul style="list-style-type: none"> 特別活動の目標を整理して理解することができる。 	(予習) 今日の子どもの問題状況を拾い出す。 (復習) 学習指導要領における特別活動を整理する。	90 90	実行力 創造力
3週 /	<ul style="list-style-type: none"> 特別活動と道徳教育、生徒指導との関連、教育評価のあり方を理解する。 	<ul style="list-style-type: none"> 講義 質疑応答 復習のまとめ発表 	<ul style="list-style-type: none"> 特別活動と他の教育活動とつながりに気づくことができる。 	(予習) 特別活動と生徒指導の関連を考える。 (復習) 特別活動における評価の役割を調べる。	90 90	課題解決力 発信力
4週 /	<ul style="list-style-type: none"> 特別活動における教師の役割について考える。 	<ul style="list-style-type: none"> 講義 質疑応答 復習のまとめ発表 	<ul style="list-style-type: none"> 特別活動の指導を進める教師の心構えを理解することができる。 	(予習) 教師に求められる資質能力を考える。 (復習) 特別活動における教師の役割を考える。	90 90	実行力 創造力
5週 /	<ul style="list-style-type: none"> 学級活動、HR活動の基本的な考え方ならびに係活動について考える。 	<ul style="list-style-type: none"> 講義 質疑応答 復習のまとめ発表 	<ul style="list-style-type: none"> 学級活動、HR活動を進める基本的な考え方を理解することができる。 	(予習) 小中学校の係活動について振り返る。 (復習) 係活動のあり方を整理する。	90 90	課題解決力 発信力
6週 /	<ul style="list-style-type: none"> 学級活動、HR活動の話し合いや集会活動について考える。 	<ul style="list-style-type: none"> 講義 質疑応答 復習のまとめ発表 	<ul style="list-style-type: none"> 話し合い活動や集会活動を進める際の留意点に気づくことができる。 	(予習) 小中学校の学級会や集会を振り返る。 (復習) 学級活動のあり方を整理する。	90 90	主体性 創造力
7週 /	<ul style="list-style-type: none"> 児童会、生徒会活動における自治と文化の意味について考える。 	<ul style="list-style-type: none"> 講義 質疑応答 復習のまとめ発表 	<ul style="list-style-type: none"> 児童会や生徒会活動を進める意味について理解することができる。 	(予習) 児童会や生徒会活動を振り返る。 (復習) 組織内リーダーシップについて調べる。	90 90	主体性 発信力
8週 /	<ul style="list-style-type: none"> クラブ活動、部活動の進め方と課題について考える。 	<ul style="list-style-type: none"> 講義 質疑応答 復習のまとめ発表 	<ul style="list-style-type: none"> クラブ活動や部活動を進める上での課題を見つけることができる。 	(予習) クラブ・部活動の経験を振り返る。 (復習) クラブ・部活動の課題を調べる。	90 90	規律性

能力名: 主体性 働きかけ力 実行力 課題発見力 計画力 創造力 発信力 傾聴力 柔軟性 状況把握力 規律性
ストレスコントロール力

週	学修内容	授業の実施方法	到達レベルC(可)の基準	予習・復習	時間(分)	能力名
9週 /	・特別活動における多様な活動①(ボランティア、エンカウンター)の考え方や進め方を理解する	・講義 ・質疑応答 ・復習のまとめ 発表	・特別活動の多様な進め方や意味を理解することができる。	(予習) 自らのボランティア経験を振り返る。 (復習) 多様な活動形態を調べる。	90 90	実行力 創造力
10週 /	・特別活動における多様な活動②(ワークショップ、体験活動)の考え方や進め方を理解する。	・講義 ・質疑応答 ・復習のまとめ 発表	・ワークショップや体験活動の意味や進め方を理解することができる。	(予習) ワークショップについて調べる。 (復習) ワークショップ、体験活動の課題について考える。	90 90	課題解決力 発信力
11週 /	・学級活動(話し合い活動)の指導計画を作成する。	・講義 ・グループ活動 ・復習のまとめ 発表	・話し合い活動の指導計画の要点を理解して、具体案を作成することができる。	(予習) 話し合い活動の指導計画案を作成する。 (復習) 発表会内容を整理する。	90 90	実行力 創造力
12週 /	・学級活動(話し合い活動)の指導計画の発表ならびに質疑応答を行う。	・講義 ・グループ活動	・学級活動を進める上での注意点を具体的に考えることができる。	(予習) 発表会準備(練習)を行う。 (復習) 話し合い活動を進める上での課題を解決する手だてを検討する。	90 90	課題解決力 発信力
13週 /	・学校行事(卒業生を送る会)の指導計画を作成する。	・講義 ・グループ活動	・学校行事の指導計画の要点を理解して、具体案を作成することができる。	(予習) 学校行事の指導計画案を作成する。 (復習) 発表会内容を整理する。	90 90	主体性 創造力
14週 /	・学校行事(卒業生を送る会)の指導計画の総合発表ならびに質疑応答を行う。	・講義 ・グループ活動	・学校行事を進める上での注意点を具体的に考えることができる。	(予習) 発表会準備(練習)を行う。 (復習) 学校行事を進める上での課題を解決する手だてを検討する。	90 90	主体性 発信力
15週 /	・本授業全体を振り返り、これからの特別活動のあるべき姿を考える。	・話し合い活動	・特別活動のあるべき姿を具体的に描くことができる。	(予習) 特別活動のあるべき姿をまとめる。 (復習) 本授業全体の学習内容をまとめる。	90 90	発信力 傾聴力

能力名: 主体性 働きかけ力 実行力 課題発見力 計画力 創造力 発信力 傾聴力 柔軟性 状況把握力 規律性
ストレスコントロール力